

# ゼネコン各社では働き方改革のための さまざまな取り組みを実施しています。

## 改善事例①

### PC自動シャットダウンの 導入で残業ゼロに!

#### 取組内容

指定時間になるとPCが自動的にシャットダウンするシステムを導入。

#### 効果

- 1時間前から画面上に警告が表示されるため、「時間内に仕事を切り上げなければ!」という緊張感を持って仕事に取り組む人が増えた。
- 業務の効率化に対する意識が高まった。
- 帰りづらさを解消できた。



## 改善事例②

### iPad活用は全方位に 効果アリ!

#### 取組内容

社員全員にiPadを配布。社内ホームページにて推奨アプリや活用方法を案内して、情報共有の仕組みを整備した。

#### 効果

- 現場で情報を共有できるようになった結果、現場⇄事務所の移動ロスを減らすことができた。
- メールの送受信がタイムリーに行えるようになった。
- 写真や動画での現場の情報交換がタイムリーに。
- 会議、打ち合わせのペーパーレス化が促進。



## 改善事例③

### 一枚のホワイトボードが、 仕事の質を高める

#### 取組内容

現場事務所内にホワイトボードを設置して、当日の業務終了時間を記入し「業務終了時間の見える化」を行った。

#### 効果

- 帰宅予定時間を周知することで、帰りづらさを軽減。
- 終了時間を決めることで、その日の業務の組み立てを検討する習慣が出来て、効率化アップ。



# 業界全体で取り組んで 建設業の働き方改革を 実現しよう!!

発注者

設計事務所

専門  
工事業者

ゼネコン

## 魅力ある建設業の実現のために

まずは現場の  
**土日完全閉所**の  
実現から!!



カレンダーやポスターを作成し、  
建設業の働き方改革を推進しています。



一般社団法人 大阪建設業協会 建築委員会 働き方改革推進部会

協会の取り組み内容をホームページで発信しています。

<https://www.o-wave.or.jp/hatarakikata/>



一般社団法人 大阪建設業協会

# 建設業が抱えている3つの課題

確認申請の遅延、近隣問題等の外的要因で工事着手できない場合や、雨、台風などの天候不順による遅延、災害復旧による遅れなど、さまざまな要因で工期が圧迫されることがあります。このような際に、残業や休日返上で対応しているのは、期日(契約工期)を守ろうとするが故のことです。しかしながら、そのような状況がすっかり常態化しているため、建設業は「きつい、汚い、危険、休暇が少ない、給料が安い、帰れない、厳しい」が当たり前になり、深刻な担い手不足を招いています。



このような労働環境が結果的に、建設業が本来持っているやりがいや魅力を見失うことにつながっていると云えます。適正な工期設定、それに伴う諸条件の見直しや「4週8閉所」を実現していくことが急務です。

## 建設業の働き方改革実現のために、全員のご協力をぜひともお願いします。

### 発注者

- 適正工期についてのご理解ご協力をお願いします。

現場は良い物を作りたい一心でがんばっています。「働き方」の改善により、さらに魅力ある業界にしていきたいと思えます。何卒ご理解ご協力をお願いします。

### 設計事務所

- 余裕を持った「モノ決め」調整・打ち合わせにご協力願います。
- 提出書類の簡素化にご理解ご協力をお願いします。
- 設計図の意匠・構造・設備での整合性確保をお願いします。

「設計」と「施工」がお互いにタッグを組んで、より良い業界にしていきたいと思えます。何卒ご理解ご協力をお願いします。

### ゼネコン

- ICTを積極的に活用し、生産性を向上させましょう。
- 業務分担は社員の適性に合わせて定期的に見直しましょう。
- 全工期に対する明確な閉所方針を立案し、関係者に周知しましょう。
- 急な休日出勤や時間外作業が発生しないように、しっかりとした施工計画と施工管理を行いましょう。

### 専門工事業者

- 閉所方針に基づいた単価設定をお願いします。
- ICTの活用などによる生産性向上のご理解ご協力をお願いします。
- 給与体系を日給から月給に変えることで、安定した休息日を保証するようお願いします。
- 現場が休みの土曜日は、専門職のみならずも休んでください。お願いします。

建設業法改正により  
(令和2年10月1日施行)

著しく短い工期での請負契約が禁止されました。また、適正な工期による請負契約の締結を促し、働き方改革を促進するため、中央建設審議会において「工期に関する基準」を作成し実施が勧告されました。